

昭和小学校だより

第7号
R2. 8.5(塩田)



おかげさまで、1学期の終業式を迎えます！

梅雨明け後の猛暑の日々。学校に着く頃には汗びっしょりになりながら、頑張っ
て学校に来てくれました。例年なら1学期は70日ほどありますが、今年の授業日は
51日。感染症対策をとりながらの異例づくめの日々でした。長かったのか短かった
のかよくわからなくなってきていますが、子供たちの頑張りと保護者の皆様のご協力
のおかげで、予定してある7日に終業式を迎えられそうです。

3年生が6月に植えたひまわりが大きく育ちました。(2m35cm)

そして子供たちも「命を守る」ことを学びながら、大きく育ってきたと思います。

7月下旬から県内でクラスターが発生し、八代市にも感染した方がおられます。い
つ誰が感染してもおかしくない状況ですので、感染予防に今まで以上に留意すると
ともに、いじめや差別がおきないようにしていかなければならないと思います。

みんなそろって2学期を迎えられることを心から願っています。



浮かんで待とう！ 浮く物を投げてあげよう！ 命を守る「着衣水泳」

万一、海や川に落ちた場合、体力の消耗
を防ぎ、浮かんで救助を待つことが大切です。【↑自力で浮かんでいます】

また、子供はたとえ近くにいても、自分では助けにいかずに、大声で大
人を呼び、ペットボトルなどの浮く物を投げてあげるとよい、という学習を行
いました。ポリ袋やランドセルも役立ちます。上手に浮かべる人 が多くて、
感心しました。まずは、落ちないことが一番ですね。🌿🌿🌿🌿



【↑ペットボトルを持っています】

通知表について

感染の第2波を心配して、6月からの授業では国語と算数の時間を
増やしました。また、感染そのものを警戒する必要もあり、一部の教科
・領域の学習が2学期送りになってしまいました。(総合的な学習の時間や音楽の歌唱・リコーダー・鍵盤ハ
ーモニカ、家庭科の調理など) したがって、学習の成績を1学期の通知表でお知らせできないものがあ
ります。通知表の所定の欄に斜線を入れてお示しします。申し訳ありませんが、ご了承ください。

潮害から2年後、76年前の災害の記録

豪雨から1ヶ月。8月3日から八竜小と坂本中
の子供たちは、日奈久小と日奈久中の空き教室を借りて、学年ごとに授業を受けられることになりました。

ここでは、前号に続き、昭和地区でおきた災害時の記録を追記します。

「昭和19年9月17日午前9時 暴風雨ノ為、堤防七十五間決潰ス。」

「9月17日 千丁第2校4学級、文政校 築地校ニ授業開始。二の丸 西田宅を事務所トス。」

「昭和20年3月31日 千丁第2校ニテ昭和19年度修了式举行」

「4月6日 昭和20年度入学式ヲ千丁第2校ニテ举行」

「5月6日 分散教育開始 第1班文政村ガラ山 第2班千丁村二ノ丸 第3班八千把村産島」

「9月25日 避難分散地ヨリ帰校」 ※生田前校長に尋ねたところ、子供の頃、宝出の鏡川沿いの一部や

貝州のかき原地区を貝殻山(ガラ山)とよんでいたそうです。

昭和校への帰校までに1年かかり、その間に終戦を迎えていたことになりました。

堤防決壊だけでも大ごとなのに、戦争で家族を亡くされた方もおられたはずで、絶望の中でどのように生
き抜いてこられたのか容易には想像できません。ただ、子供たちの笑顔や日々の成長が大人を励ましてい
たことは間違いのないと思います。 短い夏休みですが、自主学習として、ひいおじいちゃんやひいおば
あちゃんから当時のことを聞き取ることは意義深い学習になるのではないかなと思います。